

「コミュニティ再生・活性化モデル事業」 応募用紙

○ 応募事業者

所在地	〒000-0000 ●市●丁目●番●号
事業者名	●●株式会社
代表者名	代表取締役 社長 神奈川 太郎
担当者名	神奈川 二郎
電話番号	045-●●●-●●●●
E-mail	■■■■@■■■■

応募資格への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 同意します
----------	---

○ 応募内容

1 対応可能な課題を下記から選択（複数可）し、丸を記載してください	
<input type="checkbox"/> 地域住民が参加したくなるようなコンテンツ（イベント・講座等）が欲しい	<input type="checkbox"/> 子どもと地域コミュニティ団体との交流機会の減少
<input type="checkbox"/> デジタルツールを活用した情報伝達、会議や交流イベント、それに伴う集客・管理、会費や参加費の徴収等の手法を知りたい	<input type="checkbox"/> 子育てしている親世代の孤独
<input type="checkbox"/> コミュニティ団体の持続可能性の低下（運営の担い手不足、ノウハウの未継承等）	<input type="checkbox"/> 外国籍県民等の地域コミュニティからの孤立

2 対応可能なエリアについて、下記のいずれかを選択してください。 なお、県内一部地域を選択した場合は、括弧内に対応可能な市町村を記載（例えば、横浜市、藤沢市、湯河原町など）してください。	
<input checked="" type="checkbox"/> 県内全域	
<input type="checkbox"/> 県内一部地域	()

3 次の5項目を記載してください。
(1) 事業者の概要 ・弊社は、携帯端末の販売、インターネット接続サービスの提供を主な事業としている。 <HP> ●●●URL●●●
(2) 「1」で選択した課題に対する具体的な取組（定員人数、開催時間、開催条件等） ・1 開催の定員は10～20人 ・開催時間は120分 ・スクリーン、プロジェクターが必要 ・スマートフォンの操作を詳しく説明する専門の講師を派遣し、感染防止対策を徹底した上で、少人数の受講者に向けてスマホ教室を実施することが可能。また、カリキュラムについては、希望団体と調整させていただいた上で決定する。（防災アプリやLINE等を組み込むことも可能）

- ・さらに、ニーズがあるようであれば、ZOOM教室を実施することも可能。

(3) 御社のビジネスモデルについて

(例. PC 教室を定期開催しその受講料、HP 開設による手数料 等)

- ・受講者にあったカリキュラムでスマートフォンの操作教室を開催し、受講料をとっている。また、受講者の中で家に Wi-Fi がない方にはインターネット接続工事も案内している。

(4) 本事業における無償で対応できる範囲について

(どこまでが無償でどこからが有償になる可能性があるのか)

- ・初回の教室は無償ですが、2 回目以降は受講料を徴収する本来の形になる。

(5) (2) の取組により、どのようにコミュニティの再生・活性化につながるか

- ・高齢者がコミュニケーションツールとしてスマホが使えるようになることで孤独、孤立の解消につながる。